

メッセージ題「神を畏れる」 <先週の講壇より>

「それで神は助産婦たちに恵みをほどこされた。そして民はふえ、非常に強くなった。助産婦たちは神をおそれたので、神は彼女たちの家を栄えさせられた。」出1:20-21【口語訳】

ユダヤ人を大迫害したエジプトのファラオは、男児が生まれたら抹殺せよと助産婦たちに命じました。その助産婦たちの名前は「シフラ」と「プア」。信仰深い彼女たちは王を恐れるのではなく、まことの神様を畏れ敬い、主に喜ばれる道を選び取ります。そのことにより彼女たち自身が、そして家族が祝福されたと聖書は記していますし、彼女たちの働きが無ければユダヤ人の歴史は途絶え、そこからダビデも、そしてイエス様もお生まれになるということはなかったわけです。そういう意味では、このたった2人の女性たちがどんなに大きなことをしたのかということが分かるでしょう。

彼女たちはこれ以降、特に他の個所に名前を見ることはありません。でもはっきりとここに、きちんと名前も記されています。聖書には印象的な登場をしても無名の人たちも多々おりますが、この2人の女性たちはしっかりと名前を私たちも知ることが出来るのです。神様を畏れるということの大切さを、改めてここで知ることが出来るでしょう。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022年7月17日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ29:11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

